

平成30年度 「東大生を囲む会」

実施日 平成31年2月1日(金) 16:00~17:00
対 象 最難関大学を目指す高校1・2年生及び附属中3年生

現役の東京大学生2名を招聘し、東京大学を志望した理由や合格へ向けて意識した取り組み、入学した後のキャンパスライフ(魅力)などを聴く「東大生を囲む会」が開催されました。



[参加者の感想・決意(抜粋)]

- ・(2年女子)
東大生の生の声を聞けたことでモチベーションが上がったと思う。私は特に数学が苦手だが、講師の先生も数学ができない中から合格していたと分かり、私にもできるのではないだろうかという希望を感じた。
- ・(2年女子)
計画的な学習が大切だと強く感じた。今日のお話を聞いて、東大で勉強するメリットを再確認できたので、苦手と向き合いつつ最後まで頑張りたい。
- ・(1年女子)
東大はレベルが高く、入学するのが大変というイメージだったが、サークルがたくさんあったり、進振り制度というものがあると知り、とても魅力を感じた。特に私は進路がはっきりと決まっていなかったので、入学してから様々なことを学べるという進振り制度に興味を持った。
- ・(1年女子)
今回、実際の東大生から東大の魅力や学習方法についての話を詳しくうかがえ、自分の勉強のモチベーションを高める良い機会となった。先生方2人とも、高1・2年のうちに特に英国数の基礎固めが重要だとおっしゃっていたので、徹底していきたいと思う。先生がおっしゃっていたとおり、自分を信じて、志望校に合格したい。
- ・(1年男子)
今回の講演で東大の魅力について、より具体的に理解でき、受験勉強への意欲が上がりました。また、今やるべきことと今後やるべきことをぼんやりとでも、考えることが今後の勉強法に活かせると感じました。
- ・(1年男子)
いままでいろいろな話を聞いてきて、難関大に行った人たちと同じようなことを東大生も言っていて、やっぱり基礎を固めることが大切なのだと分かった。これからはしっかり基礎を固めていこうと思った。